

自動車整備の最新がわかる

# CHARGE VOL.70

## 01 皆様から信用、信頼を いただける企業を目指して

### 02 ユーザーズレポート

- 02 **小型** 新潟トヨタ自動車株式会社 新発田店
- 04 **大型** 太平興業株式会社 秋田支店
- 06 **サービス** 福岡トヨタ自動車株式会社(本社・古賀店)

### 08 新商品のご紹介

#### TOP MESSAGE

### お客様に喜んでいただく活動を通し、信用、 信頼される企業を目指してまいります

新年あけましておめでとうございます。おかげ様で当社はあと2年で100周年を迎えるところとなりました。これも多くのお客様よりご支援いただき、お力添えをいただいた結果です。改めまして感謝申し上げます。

本年の活動につきましては、引き続き当社の“技術力”と“サービス力”、“人間力”を高め、認めていただけるよう取り組んでまいります。と言いますのはお客様から信頼をいただくためには、“技術力”、“サービス力”、そして何より社員一人ひとりのお客様に対する誠実さをはじめ、高い“人間力”が重要であると考えているからです。これは自負するのではなく、実際にお客様に評価していただければじめて実践できていると言えます。ですので、皆様からご指導ご鞭撻を賜り、社員一同、ご期待に応えるよう全力を注いでいく所存でございます。また、取引先の皆様には、常日頃よりお世話になっておりますが、本年も何卒ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。

代表取締役社長 中谷 宗平

NEW

## 新商品紹介

新発売

### 待望の**手動式**が登場

光の色味を判断！  
カラー画像処理方式ヘッドライトテスター

カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター HLI-215

- 最新技術RGBカラー方式。カラーカメラの特性を活かしRGB値のバランスからランプの色味を判断することによって、より人の目に近い解析が可能となりました。
- 受光部の上下昇降は電動式を採用。上昇時、ボタン長押ししてスピードアップ。速度可変ができます。

新発売

### タイヤ脱着を サポート！

作業性と快適性を向上させ、タイヤ・ホイールの傷付き対策にも◎

タイヤリフター ATL-215

- 立ち姿勢で、足腰の負担を少なく安全・快適に作業。
- フォークがスピーディーに昇降し、作業者の背丈に合わせた操作が可能。
- 上昇・微調整は2つの足踏みペダルで簡単操作！ホイールやハブボルトを傷付けにくいタイヤ脱着作業を実現します。
- 4輪キャスター付きで前後左右の移動もラクラク。タイヤを乗せたままフォークが回転するため、ホイールの位置合わせがさらにスムーズに行えます。

デモ動画公開中！



新発売

### 大型車のアライメントを 強力バックアップ

より良い走りを追求する新スタンダード

大型車用カメラ方式アライメントシステム「トラックカム」 TC-2003

- 高い耐久性の赤外線カメラセンサーを採用。  
カメラセンサーはターゲットから相対的に角度と距離を測定。赤外線方式のため、太陽光が差し込む工場や暗室でも正確な測定が可能です。
- 取り付けカンタンな軽量ターゲット。リム径は14～24インチのアルミホイールとスチールホイールの両方に対応できます。



お問い合わせはコチラへ

**保守点検のおすすめ** ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの営業マンまでお問い合わせください。

**ANZENカスタマーサービス** 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。受付時間：月～金(AM9:00～PM5:00)

**ANZENホームページ** <http://www.anzen.co.jp> ホームページ“ANZEN Web”ではANZENの最新情報を提供しています。

●発行所/安全自動車株式会社 マーケティング部 東京都港区芝浦4-16-25  
●ANZEN NEWS 70号 (2016年1月1日発行)  
※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

# 新潟トヨタ自動車株式会社 新発田店



新潟トヨタ自動車株式会社は県内に22の拠点を持つフリーディングカンパニーです。その中で新発田店は年間7,400の整備台数を担っています。「作業スタッフの意識が高まる環境」を目指した改善が新工場ではなされました。

●店舗情報  
**新潟トヨタ自動車株式会社  
 新発田店**  
 新潟県新発田市城北町3-4-17  
 TEL：0254-22-4111  
 オープン日：  
 2015年11月4日(水)リニューアル  
 従業員数：  
 18名(メカニック6名)

●今回お話を伺った方



新発田店 店長  
下越エリア エリア長  
高橋 徹 様

サービス課  
マネージャー  
本間 和雄 様

## 整備で暮らしと安全を支え “おもてなし”の空間を提供する最新店舗

これからのアフターサービス需要を見据え、工場敷地を拡大。また設備も一新してオープンした新潟トヨタ自動車株式会社新発田店。ガラス張りの窓に高い天井、天窗から光の差し込み明るいショールームがお客様をお迎えします。取材日が平日であったにもかかわらず、多くのお客様が来店されており、整備工場もフル稼働。注目度の高さと活気を肌で感じることができました。

**フルフラットな床面で、  
車両移動がスムーズ！**

新しくなった工場は最新鋭機器を取り揃えています。本間サービスマネージャーは、「リフトが床面にフラットに収納できることに利便性を感じています」と語ってくださいました。メカニックも



カウンター席からゆったり見学ができる  
居心地の良いウェイトングルーム

になり、お客様は愛車の整備の様子を自らの目で確かめられる「見える安心感」があります。実際に私たちが見学させていただいている間にも、整備の様子を眺めているお客様の姿がありました。

また、独自のサービスメニューにも「お客様にメリットがあるパッケージを用意し、お客様の視線に沿うような企画も充実させています」とおっしゃっていました。

「お客様が安全で安心に、豊かなカーライフを送るために」と新潟トヨタ自動車株式会社の基本理念にはあります。乗用車からマイクロバス、特殊車両など幅広い車種が入庫する新発田店。

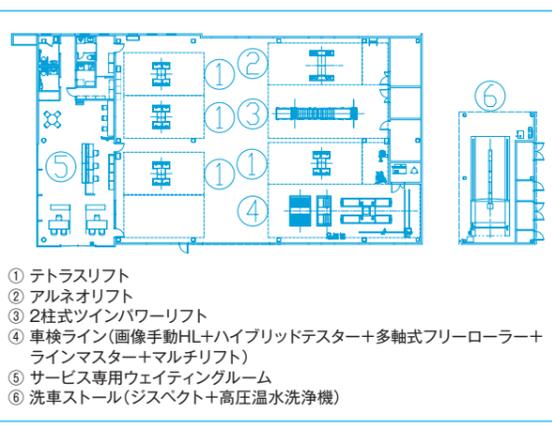
「工場内で車両を移動する際、収納時、床面から出たリフトの一部と車両の接触を気にする必要がなくなりました。また、整備ストールへの車両セッティングがスムーズになったことで、作業の効率化にも繋がっています」と利便性を実感されていました。

居住区のほか、新潟県を代表する温泉地が商圏に入る同店では、送迎用マイクロバスの車両整備も行っています。また、一般向けのSUVや貨物車はもちろん、救急車など近隣の消防署や自衛隊駐屯地の車両整備にも対応する同店。より効率化を図るため、大型車用整備工場でも多く使用されている、2柱式ツインパワーリフトを新たに設置しました。高まった安定性と作業性で「従来の



◀マイクロバス整備は  
“2柱式ツインパワーリフト”で  
安全にリフトアップ

白を基調とした壁面、各方向からの採光とLED照明により、“明るい工場”を実現。床面フルフラットで効率化や安全性・工場美観に貢献



- ① テトラスリフト
- ② アルネオリフト
- ③ 2柱式ツインパワーリフト
- ④ 車検ライン(画像手動HL+ハイブリッドテスター+多軸式フリーローラー+ラインマスタ+マルチリフト)
- ⑤ サービス専用ウェイトングルーム
- ⑥ 洗車ストール(ジスペクト+高圧温水洗浄機)

安全を支える役割を持っています。同店もまた整備を通してその一端を担っているのです。

埋設2柱式リフトと比べてより使いやすく、重宝しています」とのことです。4トンの耐荷重を有する「アルネオリフト」は重整備に適し、SUVや小型トラック、特殊車両の点検にも活躍しています。ドライブオンで車両をセットできる「マルチリフト」は車検ラインで使用され、マルチプレート採用でセットアップが簡単な「テトラスリフト」は一般整備や車検整備で活用されています。

フリーローラーをセッティングするため、車検ラインに車両を乗り入れるから何度か車を降り降りしなければならず、時間と手間がかかっていました。その乗り降りも、今は車両を進入させるだけで完了するため助かっています」と検査員の方が語ってくださいました。

「門型洗車機を導入するのは初めてですが、ガソリンスタンドで静音式でない洗車機を使用していると、店舗の洗車機の静かさを実感します」とのことでした。

**別棟のサービス専用の  
ウェイトングルームで整備を見学。  
安心感を提供**

一連の整備の様子はサービス専用のウェイトングルームから確認できるようなっています。メカニックは「見られる緊張感」が良い刺激

### ルライター MEMO

販売しているクルマにふさわしい建物やくつろげる空間が、人にやさしさを与え、贅沢な気持ちにさせてくれます。コーヒークップを口にしながら“自分が持ち込んだ患者の診断を行っているドクターの動き”を観察してみるのもいいかもしれません。



スピーディーかつ効率の良い整備を実現する  
「4柱式ツインパワーリフト」

オールシーズン快適な環境づくり  
別棟に設けた洗車場には固定式「下部洗浄装置」に加え、上部ノズルから水を噴射し車両に積もった雪を落とす「上部洗浄装置」を設置。シク

両を連結したままリフトアップが可能になり、大幅な時間短縮に繋がりました。また、中・小型車は縦列で2台同時の整備ができるようになり、回転率の向上を実感しています」と、齋藤サービス課長。2分割フロアリフトも同様に中・小型車の縦列整備が可能のため、クイック整備やオイル・ミツシヨン交換などに役立てています。また、車両を上げずに整備ができるため、万が一地震などが起きても労働災害を防ぎ、メカニックが安心して作業のできる環境を創出しています。



車両の上下洗浄で工場内に雪を持ち込むことなく、工場内をクリーンに保ちます

リーンバーンボイラーと連動することで温水供給が可能となり、より一層の効果が期待されます。工場内には、グリーンバーンヒーターを設置。グリ集中給油システムと連動させ、配管を暖めることでグリスの硬化を防止します。工場全体を暖めるため、厳しい冬もメカニックが快適に作業するための必須アイテムとなることでしょう。また、積載重量を測定する「荷重試験装置」も洗車場内に設置し、お客様の様々なニーズに応える工夫を行っています。

働きやすさが  
高品質なサービスへ

検査ラインについては「今まで最低2人は必要でしたが、ラインマスター」などの導入により1人でも検査ができるようになりました。結果は自動プリントアウトなので高効率



リモコン操作でメカニック1人での検査も  
可能になる「ラインマスター」

化につながっています。以前に比べ、1台あたり3分の2ほどの時間で検査が完了しています」と、齋藤サービス課長。工場美観の観点からは、各ストールの廃油やダストを高真空ラインで自動吸引する「MVシステム」を導入。ドラム内はもちろん、キャビン内の掃除も可能になり、工場・車両内共に効率よく清掃ができるようになったとのこと。さらに、メカニック全員とフロントにインカムを持たせ、無線通信を行うことで移動にかかる時間や負担を軽減。的確かつ素早い情報共有ができるため、効率向上に役立てています。

安全性と労働負荷に配慮し、数多くの先鋭設備機器を導入した同店。高効率化を実現し従業員に優しい環境を作ることで、CS向上にも大きく貢献してくれることでしょう。



太平興業株式会社は三菱ふそうトラック・バスの特約販売会社として秋田・山形・新潟の3県に17拠点を構え、販売・サービスを行っています。今回訪れたのは約40年ぶりにリニューアルした秋田支店。一新した整備工場で、メカニックが生き生きと作業しています。

●店舗情報  
太平興業株式会社  
秋田支店  
秋田県秋田市寺内大小路207-37  
TEL：018-846-1111  
オープン日：  
2015年6月 リニューアル  
従業員数：  
54名(メカニック28名)



●今回お話を伺った方



支店長  
大友 秀勝 様



サービス課長  
齋藤 繁 様

高度な技術と最新鋭設備でトータルサポート!

充実のアフターサービスで  
CS活動を強化

秋田支店は能代営業所と由利営業所を管轄しており、年間新車販売台数は180〜200台、年間在庫台数は11500台(2014年4月〜2015年3月)。

同店の経営理念は「①お客様のニーズに応じた最適な製品提供 ②充実のメンテナンス体制で車両を的確にフォロー ③車両情報をメーカーと共有し品質向上に貢献」の3箇条です。「CSを100%に近付けるため、様々な施策を打ち全社を挙げて取り組んでいます」と、大友支店長。その施策のひとつが2015年11月より開始した独自のメンテナンスメニューです。新車購入ユーザーへ向け、初回車検および12ヶ月点検までのアフターフォローを始め、付加価値のある様々な

太平興業株式会社  
秋田支店



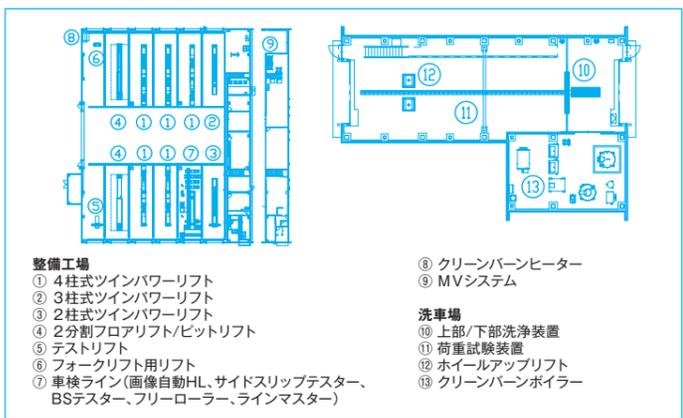
安全性と効率性を両立する新工場

リニューアルのこだわりは、車両を後退させないこと。通路の左右に整備ストールを設置し、整備終了後は後退せず各ストールから出庫ができるため、接触事故を防ぎ、安全面を考慮したレイアウトとなっています。

リフトは、ツインパワーリフトや「フロアリフト」などを新たに設置。4基導入した「4柱式ツインパワーリフト」は効率化に大きく貢献したことです。「従来トレーラーの整備はトラクターとトレーラーを切り離さなければならず、お客様の手を煩わせていました。しかし同機の導入で、車



広く清潔な新工場で、  
アフターサービスまでしっかりフォロー



VOICE

ルライター MEMO

休憩時間、メカニックの皆さんが暖を取りながら何やら楽しそうに話していました。笑顔は新たな環境がもたらした小さなプレゼントかもしれません。その笑顔をお客様に、ご家族に届けてください。至福の時間があるからこそ、素晴らしい仕事につながるのではないのでしょうか。

# 福岡トヨタ自動車株式会社



福岡トヨタ自動車株式会社は32拠点の店舗に加え、3拠点のBP工場や車両物流センター、2店舗のレクス店、3店舗のフォルクスワーゲン店を保有する県下の自動車販売会社。お客様に快適なカーライフをお届けするため、高品質なサービスを提供しています。

● 会社情報

**福岡トヨタ自動車株式会社**  
 福岡県福岡市中央区渡辺通4-8-28(FTビル7F)  
 TEL: 092-761-3331  
 従業員数: 937名



● 店舗情報

**福岡トヨタ自動車株式会社 古賀店**  
 福岡県古賀市日吉3-21-8  
 TEL: 092-943-5051  
 従業員数: 16名(エンジニア7名)

● 今回お話を伺った方

		
サービス部 部長 坂口 哲也 様	サービス部 部長補佐 吉岡 孝善 様	
		
古賀店 店長 浅野 博 様	古賀店 副店長 山本 起生 様	古賀店 エンジニアリーダー 主任 波止 橋蔵 様

## “人命は何ものにも代えられない” 安全管理への強い意志

“整備機器の点検”は法的に定められているものではありません。しかしながら、近年では機器点検の重要性が広く認知されるようになり、取り組みを強化する整備事業者は年々増加しています。今回お話を伺った福岡トヨタ自動車株式会社は、おおよそ10年前より整備機器の保守点検契約を結び、リフト・コンプレッサー・タイヤチェンジャー・バルancer・エアゲージ・トルクレンチなどの点検を定期的に行っています。お客様に最高のサービスを提供する上で重要な要素となる、整備機器の精度維持。その鍵を握る“整備機器の点検”について、本社サービス部と古賀店にお話を伺いました。



見えない部分は  
プロの目で  
しっかりチェック!

● 整備機器の点検について、  
どのようにお考えでしょうか。

**坂口** 車と同じように、整備機器もきちんとメンテナンスをしていかなければならないと思っています。お客様がわざわざ足を運んでくださっているのに、リフトが上からないので車両整備ができません。話にならないから、保守点検を依頼するようになってからは、故障する前に問題を確認できるので、リフトが上がらない、洗車機が壊れたなどの報告は最近ほとんど聞いていませんね。エンジニアも安全への意識が高まっていますし、日常点検をしっかり行うようになりました。

● 保守点検契約を結んだ  
きっかけについてお聞かせください。

**坂口** 保守点検の開始は、コンプレッサーのトラブルがきっかけでした。コンプレッサーに不具合が出ると、工場全体がストップしてしまふ。

**吉岡** 実際に私がサービス副店長をしているときも、コンプレッサーが壊れてしまふ困り果てたことがありました。急速

修理対応をしてもらいましたが、工場の根幹となる部分ですし、今後定期点検は必要だね、と。その後、オイル交換を定期的にお願ひするようになり、リフトや他の整備機器の保守点検も開始しました。定期的に点検をすることで、突発的な故障が激減しています。

**坂口** あと、予算組みがしやすくなりましたね。点検内容を店舗ごとにリスト管理しているから、部品交換や買い替えの時期が分かりやすくなりました。

● リフト点検の重要性については  
どのようにお考えでしょうか。

**坂口** リフトはきちんと整備しておかないと、車両の落下など重大事故に繋がります。お客様の車両保護はもちろん、何よりも心配なのはエンジニアの怪我。人命は何ものにも代えられません。

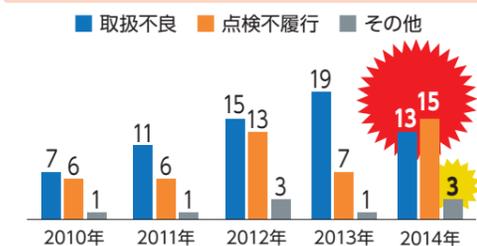
**吉岡** 点検や部品交換などへの出費に関して、現場と本部では若干のギャップがあります。ですが、ちょっとした修理費用よりも、私たちはお客様の満足と従業員の安全の方が大事だと考えています。機器の管理について本部から指針を出すと共に、現場から声を上げやすくしています。

● 修理費用への意識はいかがでしょうか。

**吉岡** 本部の理解度が高まっていますね。現場はどうしても費用面を気にしてしまいがちですが、安全面および効率を考え、必要なものは投資をしなければなりません。

**坂口** 今はだいぶ風通しが良くなってきたかな。店舗を訪問した際は、店長や副店長と

### リフト事故発生推定原因(2010年~2014年)



※複合要因を含む為、事故発生件数の全体数と各項目の数値は異なります

数ある整備機器の中で最も事故件数が多い整備用リフト。10年間でおよそ218件の事故が発生しています。



定期的な給油や、安全装置の作動音確認など自主点検を行う同店。保守点検に合わせて日常的な点検を行うことが重要です。

## 古賀店

● 整備機器の点検について、  
どのようにお考えでしょうか。

**山本** 点検をする上での意義は、お客様にご迷惑をかけないことと、エンジニアの安全管理です。リフトが動かなくなると車両整備ができなくなり、お客様をお待たせしてしまう。車両落下事故などが起きるとエンジニアを危険に晒してしまふ。その2点を念頭に置き、故障や事故を未然に防ぐため、定期的な点検を行っています。

● 自店で点検を行う際の内容について  
お聞かせください。

**山本** 保守点検を行っているからと受動的になるのではなく、エンジニアがきちんと考えて機器のチェックをしています。リフトの給油などは随時行っていますね。過去、リフトが故障してしまふ苦労した経験も踏まえ、リフトの扱いには特に気配りをしています。

**波止** 具体的には、毎朝30分の始業点検時に、リフトを最上部まで上げて清掃を行っています。その際、不具合がないか、汚れがないか、異音がないかなど全体的に確認しています。あるエンジニアは、チェーンロックの音を聴いているそうで、ロックがきちんとかかっているか、その音をよく聴き、状態をチェックしています。さらに、リフトが正常に上昇下降しているか目視確認も行っています。

**山本** 自主点検は各々の知識や経験を元に行っていますが、全てをメンテナンスできるわけではありません。やはり、専門の方に見てもらえるのは心強いですね。人命も信頼もお金では買えません。事故が起きる前に、費用を掛けてでも対策をするべきだと思います。

カーオーナーへ最高のサービスを提供するために、まず従業員の安全を確保し、仕事に集中できる環境を整えることが重要です。自動車業界の安全を支えていくことを踏まえ、いまま一度安全管理について考えてみてはいかがでしょうか。

2014年1~12月 整備機器事故状況						
機種名/事故発生場所	ディーラー	専業者	ガリノスタンド	用品店	その他	合計
リフト	15	7	3	1	2	28
門型洗車機	9			1	3	13
バッテリー用補助電源	2		1			3
塗装ブース	3					3
赤外線乾燥機	2					2
タイヤチェンジャー		1	1			2
オイルドレン	2					2
油圧プレス	1					1
集塵機	1					1
部品洗浄機	1					1
タイヤ安全囲い					1	1
リフト用リモコン	1					1
合計	37	8	5	2	6	58

日本自動車機械工具協会によると、2014年の自動車整備機器事故は58件発生しており、前年と比べ11件増加しています。